四谷大塚	6年		
	算数		
学習内容	第5回　合不合判定テスト 8回　数・規則・論理（3） 9回　図形(3) 10回　文章題（4）		
家庭学習ポイント	11月の学習内容は「数・規則・論理（3）」「図形（3）」「文章題（4）です。「数・規則・論理（3）」は数列や図形の規則性やN進法などの復習です。N進法は出題頻度の少ない分野ですが、出るなら難関校、そして差がつきやすい出題となります。苦手なお子さんは、この機会を利用してマスターしてしまいましょう。「図形（３）」では相似や図形・点の移動などを総復習をしていきます。相似については受験算数の図形分野でも「必須」といえるものです。図の中に相似な図形をみつけ、つねに「2つの図形をくらべている」ということを意識して取り組むことが大切です。学習の軸足を志望校に向けた対策に移していく必要があります。過去問も進めていかなければなりません。ここから大事なのは、過去問や志望校の頻出単元の強化です。過去問では出題形式・出題傾向、時間配分や問題の取捨選択まで含めた見直し・振り返りを心がけましょう。「文章題(4)」では旅人算や速さと比を扱います。分野別の学習で最後の文章題、徹底的に不安を無くす方向で授業に集中しましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	文章題それぞれについての図法や考え方などが、すぐに出てくる状態になっていますか？	チェック
	解決策	予習シリーズの学習を通して整理していきましょう	▫
	チェック2	初見の問題への対応力がついてきていると感じますか？	チェック
	解決策	演習授業のサイクルがうまく回っていると、だんだんついてくるものです	▫
	チェック3	「いまだに乗り越えられていない」分野は把握できていますか？	チェック
	解決策	11月～年内くらいを目処に弱点補強は済ませてしまいましょう	▫
	チェック4	答え合わせ、解説から学ぶことができていますか？	チェック
	解決策	予習シリーズ、志望校別特訓、過去問のすべてが対象になります	▫
	チェック5	過去問演習は順調に進んでいますか？	チェック
	解決策	少なくとも受験する学校で「過去問を問いたことがない」がないようにしましょう	▫

四谷大塚	6年		
	国語		
学習内容	第5回　合不合判定テスト 8回　〔原因・理由〕の問題　送りがな・国語辞典　故事成語 9回　〔気持ち〕の問題　漢字の成り立ち・部首　外来語 10回　〔表現〕の問題　画数・筆順・漢和辞典　慣用句③		
家庭学習ポイント	11月、予習シリーズでは「随筆文」が終わると、読解では「〔原因・理由〕の問題」「〔気持ち〕の問題」「〔表現〕の問題」とテーマ別の学習が続きます。知識の分野では「送りがな・国語辞典　故事成語」「漢字の成り立ち・部首　外来語」「画数・筆順・漢和辞典　慣用句③」と既習分野を総括します。学校ごとに問題傾向は異なりますので、志望校の国語の問題と、『予習シリーズ』や『合不合判定テスト』の国語の問題との間に生じるギャップが気になり始める時期です。いずれの場合も優先すべきは志望校、受験校の出題傾向であり、傾向が異なるものについては塾の課題であっても優先順位は低いものと考えましょう。合不合判定テストについては、ふだんの学習だけでは改善しにくい「時間配分」や「取り組む問題の優先順位づけ」といった点について、事前に十分にシミュレーションして臨みましょう。これは家庭での過去問演習についても同様です。何年分かを演習すると、学校ごとの出題の特徴がつかめてくると思います。その経験を、次の年度の演習に活かすことを意識しましょう。過去問を解き、分析することで、今後、お子さんが特に集中して取り組むべき文種や知識分野、塾の講座を絞り込んでいきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	テストの振り返りを詳細にできていますか？	チェック
	解決策	知識分野の覚え直しはもちろん、読解法のチェックも細かに行いたいですね	▫
	チェック2	志望校の出題傾向がわかってきましたか？	チェック
	解決策	受験校を具体的に決める中で、その傾向についても過去問で確認していきましょう	▫
	チェック3	過去問の直しから多くの学びを得ることができていますか？	チェック
	解決策	「次に正解させるべき問題」を意識して学習するようにしましょう	▫
	チェック4	語彙を増やすための努力は続けていますか？	チェック
	解決策	語彙の学習は入試直前まで（入試当日も含める）くらいの意識で続けましょう	▫
	チェック5	過去問演習は順調に進んでいますか？	チェック
	解決策	進行状況によっては、塾の講座の欠席を視野に入れるべきケースもあります	▫

四谷大塚	6年							
	理科							
学習内容	第5回　合不合判定テスト 8回　化学２（気体） 9回　生物３（動物） 10回　地学３（気象）							
家庭学習ポイント	11月の学習単元は、8回「 化学２（気体）」9回「 生物３（動物）」10回「 地学３（気象）」です。それぞれ、大きなテーマで既習範囲を総ざらいする内容となっています。さまざまな知識が複合するため、知識どうしの結びつきが不十分と感じた場合は、「今演習している問題から学ぶ」という意識で取り組むといいでしょう。表やグラフを含む長文問題に関する問題も大奥掲載されています。思考系の長文問題は近年多くの中学校で出題されていますが、特に麻布、武蔵、渋渋、渋幕、栄光学園、鴎友学園などを志望するお子さんは力を入れたい分野です。苦手意識のあるお子さんも少なくない出題傾向ですが、文章中のヒントを手がかりに正答を導くことを意識して取り組んでみましょう。過去問を計画的に解き、志望校がどのような形式で上記のような問題を出題しているかを確認しておくことも大切です。知識面などに不安が残るお子さんは「四科のまとめ」「予習シリーズ」「魔法ワザ」などを利用し、基本のおさらいをしておきましょう。植物や昆虫などは資料集などを活用して画像で確認をしておくと印象が強く残り効果的です。							
課題の把握と解決策	チェック1	理科に関してはっきりと「苦手」と感じる分野がありますか？	チェック					
	解決策	あるなら11月いっぱいで解決するイメージで計画を立てて取り組みましょう	▫					
	チェック2	授業・特訓・過去問で解く1問1問から学んでいますか？	チェック					
	解決策	「忘れていたことに今気づいてよかった！」積み重ねていけばいいですね	▫					
	チェック3	過去問の演習は順調に進んでいますか？	チェック					
	解決策	少なくとも受験する学校で「過去問を解いたことがない」だけはないように計画を組みましょう	▫					
	チェック4	第一志望校の出題傾向を理解していますか？	チェック					
	解決策	予習シリーズ下巻5回以降の内容には、すべて志望校の出題形式を意識して取り組みましょう	▫					
	チェック5	知識分野の学習はコツコツ続けていますか？	チェック					
	解決策	「ルーティン」の学習としての知識学習は入試直前、当日まで続けましょう	▫					

四谷大塚	6年							
	社会							
学習内容	第5回　合不合判定テスト 8回　戦いの歴史 9回　日本と世界のむすびつき 10回　今日の国際社会と日本の課題							
家庭学習ポイント	11月は第8回「戦いの歴史」第9回「日本と世界のむすびつき」第10回「今日の国際社会と日本の課題」と、10月に引き続き、学習単元ではなくテーマ別の学習が続きます。地図や図・統計資料・文章を読み解いていく、非常に実戦的な問題も扱います。並行して進めている過去問演習で志望校の出題形式を学びつつ、地図やグラフ、統計資料の読み取りがどのように入試で求められているかを確認していきましょう。通常授業、特訓、過去問演習のいずれもですが、解けなかった問題があった場合に、単に答えを確認するだけでなく、周辺知識まで含めて復習、調べてノートにまとめましょう。確実に解ける問題が増えていきます。基本事項や『四科のまとめ』にあるような一問一答式の問題の正答率は、限界まで上げておく必要があります。ただし学校によっては、一問一答的な知識だけでは点が取れないケースも多々あります。一問一答が中心か、記述が多いのか、地図や複雑な資料の読み取りが求められる問題はあるのか、時事問題は多いのか、頻出単元はあるのかなどをチェックし、自分は、どの単元や問題形式に強くなっていけば良いのかを考えながら取り組むようにしましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	志望校の出題傾向がわかってきましたか？	チェック					
	解決策	平常授業、特訓授業の内容のうち「自分は何を中心に身につければいいか」を意識しましょう	▫					
	チェック2	1問を解くごとに「この問題からはこれを学んだ」と感じるものがありますか？	チェック					
	解決策	この確認の作業が、次の問題の正答につながっていきます	▫					
	チェック3	問題の解き直しのときには、周辺知識まで学習していますか？	チェック					
	解決策	コツコツと続けることで、確実に得点力は上がっていきます	▫					
	チェック4	過去問の演習は順調に進んでいますか？	チェック					
	解決策	進行状況によっては、塾の講座の欠席を視野に入れるべきケースもあります	▫					
	チェック5	平素からコツコツと知識の学習はできていますか？	チェック					
	解決策	社会では特に「入試当日の朝までが知識力アップの期間」と心得ましょう	▫					